◆2024年2月の新刊　日本キリスト教団出版局

南山大学学術叢書

文脈の中のアフォリズム

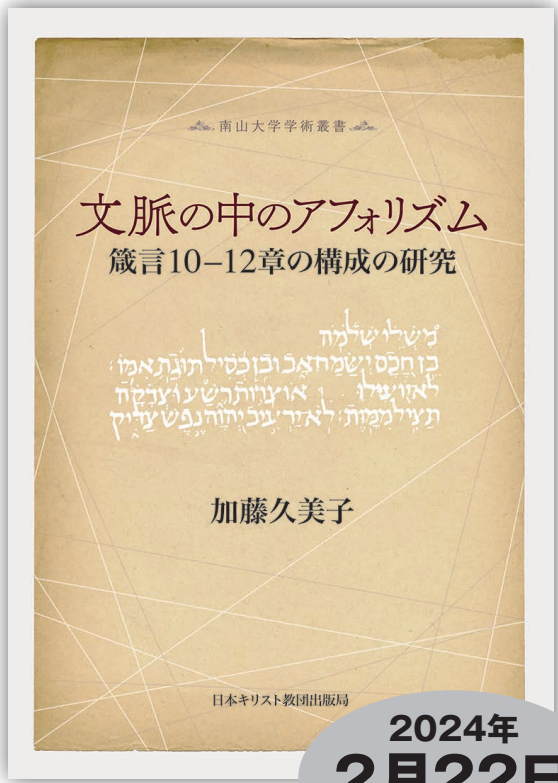
箴言10–12章の構成の研究

加藤久美子（かとうくみこ）著

1965年東京生まれ。東京大学文学部卒業、同大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。現在、南山大学人文学部キリスト教学科准教授（旧約学、聖書ヘブライ語、宗教学）。

旧約聖書の『箴言』の第二部分にあたる10章1節～22章16節。そこで展開されているのは、通常理解されるような単純な個人の応報思想ではないことを、構文や語形の綿密な吟味や考察から明らかにした上で、その構造や統一性を示す。著者の博士論文の書籍化。

A5判・上製・352頁・定価6,600円（本体6,000円＋税）
ISBN978-4-8184-1157-9　C3016



2024年
2月22日
刊行予定

目次

序　論
第1章　箴言の本文、最終形態、編纂
第2章　詞の意味ある配列を前提としない研究
第3章　「行為－結果－連関」と宇宙秩序
第4章　聖書ヘブライ詩の並行法
第5章　差異を伴う反復
第6章　箴言第2部分における構成手法と構造
第7章　箴言10–12章の翻訳
第8章　箴言10–12章の構成
結論と展望